



滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

令和4年第26週 (6/27~7/3) 【概要版】

令和4(2022)年7月8日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント

- 感染性胃腸炎は、継続して多く報告されています。腸管出血性大腸菌感染症も継続して報告されており、調理前や食事前の手洗いとともに、食品の取り扱いにご注意ください。
- 突発性発しんは、全県で過去5年の同時期と比べて多く報告されています。
- 手足口病は、定点および学校欠席者情報収集システムで増加傾向にあります。全国および近隣府県でも増加傾向にあります。
- RSウイルス感染症は、滋賀県ではまだ低い値で推移していますが、全国および近隣府県では多く報告されています。

2. 報告数が多かった小児科定点把握疾患（五類感染症）ⁱ

(1) 滋賀県

疾病名	滋賀県			警報 注意報 (ii)	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	保健所別 (iv)						
	2週前	1週前	今週				大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島
感染性胃腸炎	4.69	4.64	4.14		○		↑					多	多
手足口病	0.19	0.56	0.64				↑	↑	↑		多		
突発性発しん	0.22	0.28	0.58		○			多	多	↑		多	
RSウイルス感染症	0.31	0.50	0.50					多	↑			多	
ヘルパンギーナ	0.08	0.19	0.47				↑			多			多

(2) 前週の全国、滋賀県および近隣府県の状況（下線：滋賀県よりも多い）

疾患	全国	滋賀県	大阪府	京都府	福井県	岐阜県	三重県
感染性胃腸炎	<u>5.31</u>	4.64	<u>5.6</u>	3.99	4.57	3.58	<u>6.4</u>
手足口病	<u>0.6</u>	0.56	0.13	0.15	<u>3.43</u>	0.08	0.42
突発性発しん	<u>0.4</u>	0.28	<u>0.3</u>	0.21	0.22	<u>0.32</u>	<u>0.47</u>
RSウイルス感染症	<u>0.58</u>	0.50	<u>1.35</u>	<u>0.79</u>	<u>1.04</u>	<u>2.21</u>	<u>1.82</u>
ヘルパンギーナ	0.14	0.19	0.03	0.05	<u>0.35</u>	0.02	0.02



3. 全数把握疾患（滋賀県、今週診断例）

類型	疾病名	滋賀県			例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	保健所別						
		2週前	1週前	今週			大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島
二類	結核	4	4	4			1		1			2	
三類	腸管出血性大腸菌感染症	2	5	1	○			1					
四類	レジオネラ症	0	1	2	○	○				1	1		
五類	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	0	0	1	○			1					

i. 定点把握疾患：人口および医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点（医療機関）で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握しています。

ii. 警：警報発令、注：注意報発令

iii. 今週の値が過去5年の同時期（全数把握疾患は同時期の累積報告数）の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」を標記（定点把握疾患の平均値は過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均を利用）

iv. 「警：警報開始基準を超過」、「注：注意報基準を超過」、「多：今週の滋賀県の値よりも多い」、「↑：前週比増加」（「警報」、「注意報」、「多」、「↑」の順に優先して標記）

滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

令和4年第26週(6/27~7/3)【詳細版】

令和4(2022)年7月8日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント

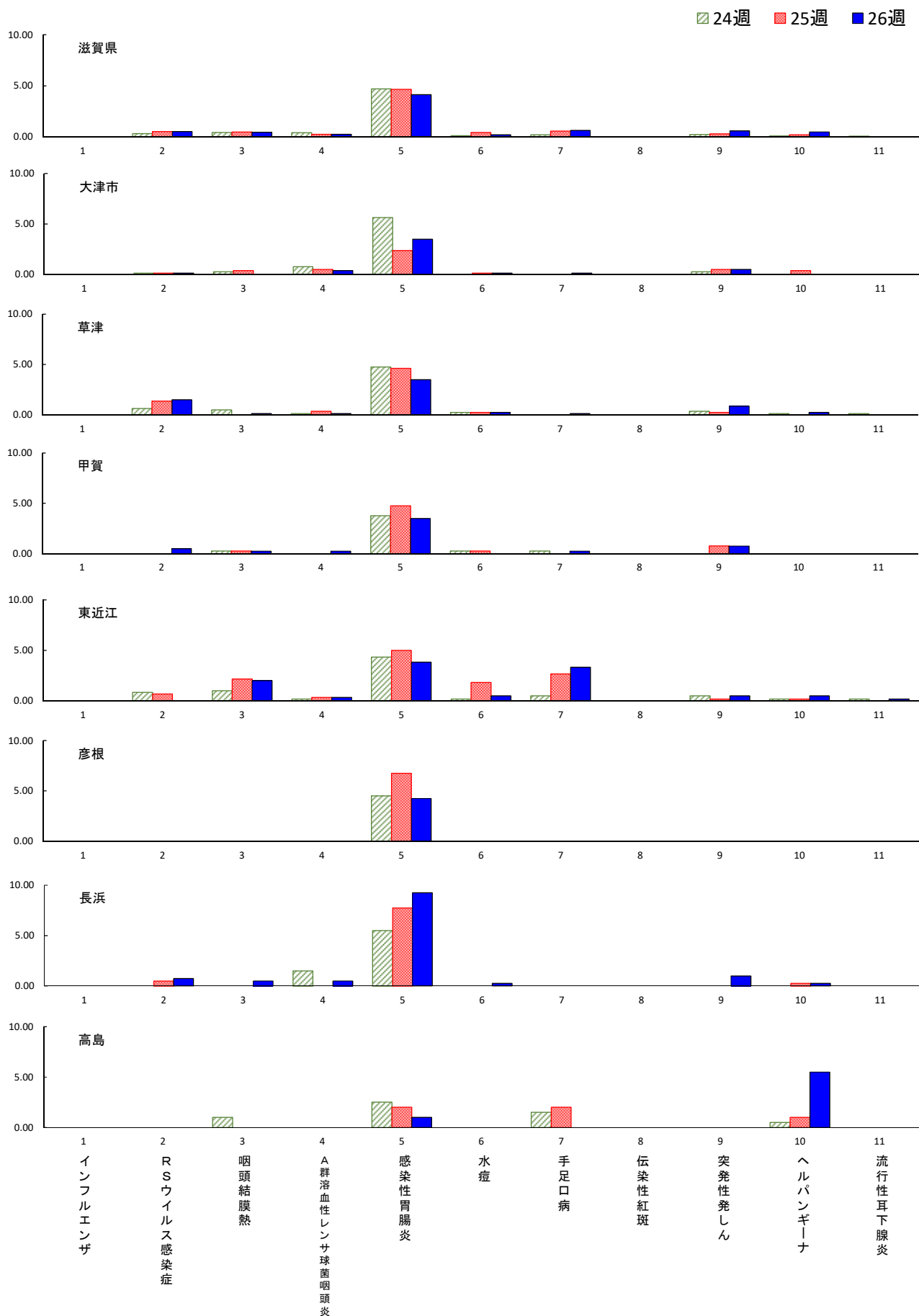
- 感染性胃腸炎は、継続して多く報告されています。腸管出血性大腸菌感染症も継続して報告されており、調理前や食事の手洗いとともに、食品の取り扱いにご注意ください。
- 突発性発しんは、全県で過去5年の同時期と比べて「非常に多く」報告されています。
- 手足口病は、定点および学校欠席者情報収集システムで増加傾向にあります。全国および近隣府県でも増加傾向にあります。
- RSウイルス感染症は、滋賀県ではまだ低い値で推移していますが、全国および近隣府県では多く報告されています。

2. 定点把握疾患(五類感染症)の定点当たり報告数(全国は前週)の値^{i, ii, iii, iv}

定点区分 (定点数)	疾病名	滋賀県			保健所別 ^(iv)							基準値						
		2週前	1週前	今週	警報 注意報 (ii)	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	全国 (前週) (iv)	警報 開始	警報 終息	注意報
インフルエンザ (定点数:60)	インフルエンザ	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	30	10	10
	RSウイルス感染症	0.31	0.50	0.50				0.13	1.50	0.50	0	0	0.75	0	0.58	-	-	-
	咽頭結膜熱	0.42	0.47	0.44				0	0.13	0.25	2.00	0	0.50	0	0.43	3	1	-
	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	0.39	0.25	0.25				0.38	0.13	0.25	0.33	0	0.50	0	0.35	8	4	-
	感染性胃腸炎	4.69	4.64	4.14		○		3.50	3.50	3.50	3.83	4.25	9.25	1.00	5.31	20	12	-
	水痘	0.11	0.42	0.19				0.13	0.25	0	0.50	0	0.25	0	0.08	2	1	1
	手足口病	0.19	0.56	0.64				0.13	0.13	0.25	3.33	0	0	0	0.60	5	2	-
	伝染性紅斑	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.01	2	1	-
	突発性発しん	0.22	0.28	0.58		○		0.50	0.88	0.75	0.50	0	1.00	0	0.40	-	-	-
小児科 (定点数:36)	ヘルパンギーナ	0.08	0.19	0.47				0	0.25	0	0.50	0	0.25	5.50	0.14	6	2	-
	流行性耳下腺炎	0.06	0	0.03				0	0	0	0.17	0	0	0	0.04	6	2	3
	急性出血性結膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1	-
	流行性角結膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.18	8	4	-
	細菌性髄膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.02	-	-	-
	無菌性髄膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.03	-	-	-
	マイコプラズマ肺炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.02	-	-	-
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0.14		○		0	0	0	0	0	0	1.00	0	-	-	-
インフルエンザ (入院例に限る)	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	
基幹 (定点数:7)																		

- 定点把握疾患: 人口および医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点(医療機関)で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握しています。
- 定点当たり報告数が「警報開始基準値」を超える全ての保健所の管内人口の合計が、県人口全体の30%を超えた場合に滋賀県全域に警報を発令(「警」)します。また、定点当たり報告数が「注意報基準値」を超えた場合に注意報(「注」)を発令します。
- 今週の値が過去5年の同時期(全数把握疾患は同時期の累積報告数)の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」を標記(定点把握疾患の平均値は過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均を利用)
- 赤字斜字:** 警報開始基準を超過、**紫字斜字:** 注意報基準を超過

3. 定点把握疾患（五類感染症）の保健所別推移（滋賀県、今週と過去2週）



4. 定点把握疾患（五類感染症）の年齢階級別報告数（滋賀県、今週）

インフルエンザ定点 (60医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳～	
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大津市保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草津保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
甲賀保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東近江保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
彦根保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長浜保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高島保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

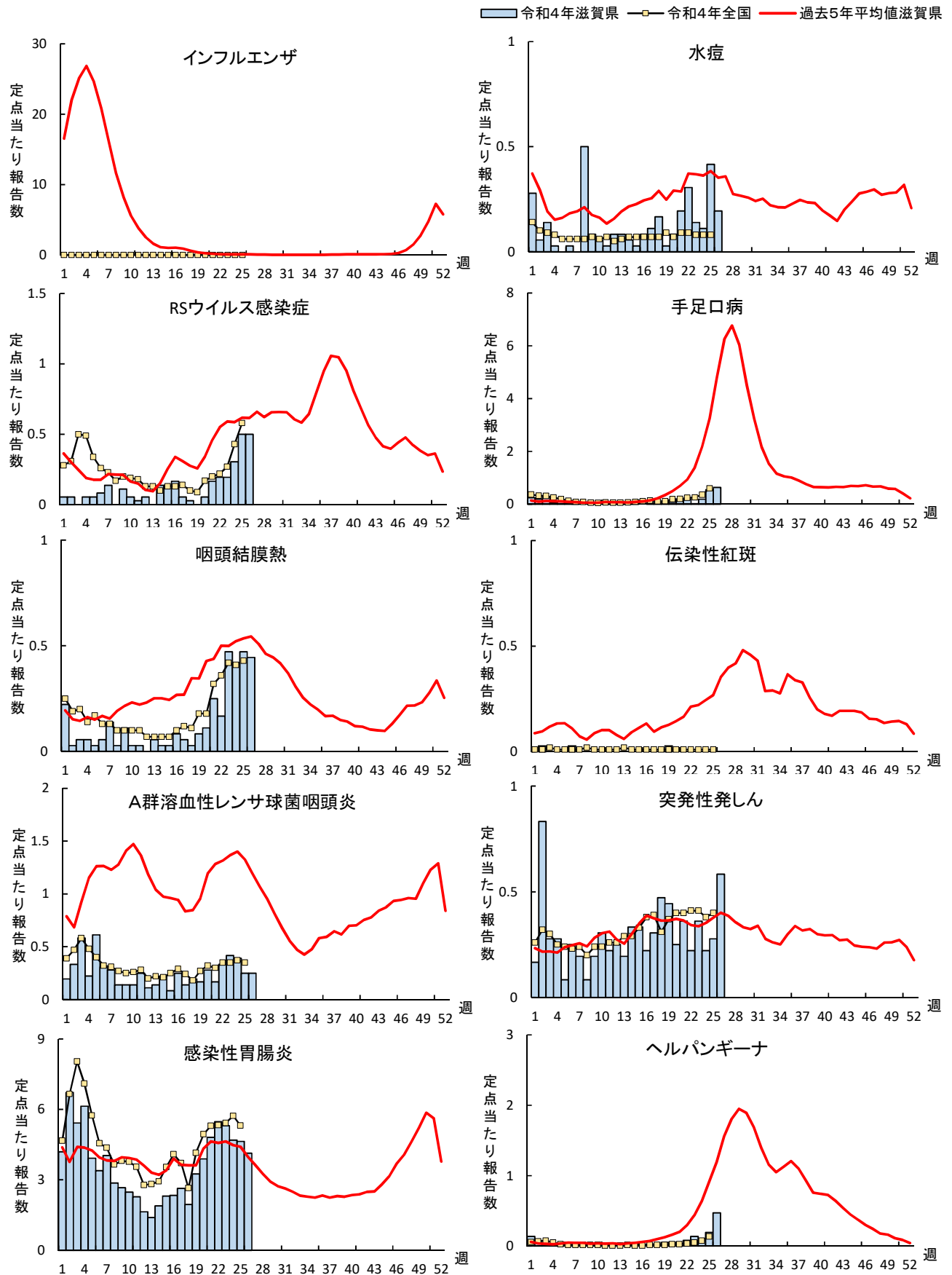
小児科定点 (36医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～
RSウイルス感染症	18	1	5	5	4	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱 (プール熱)	16	-	2	7	3	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	9	-	-	-	4	2	-	1	-	-	1	1	-	-	-
感染性胃腸炎	149	1	2	28	25	16	19	15	11	5	4	6	8	1	8
水痘	7	-	-	-	-	1	-	1	1	-	1	2	1	-	-
手足口病	23	1	1	8	4	4	2	1	1	1	-	-	-	-	-
伝染性紅斑 (リンゴ病)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	21	-	3	14	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	17	-	3	2	3	1	-	5	3	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

眼科定点 (8医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳～	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

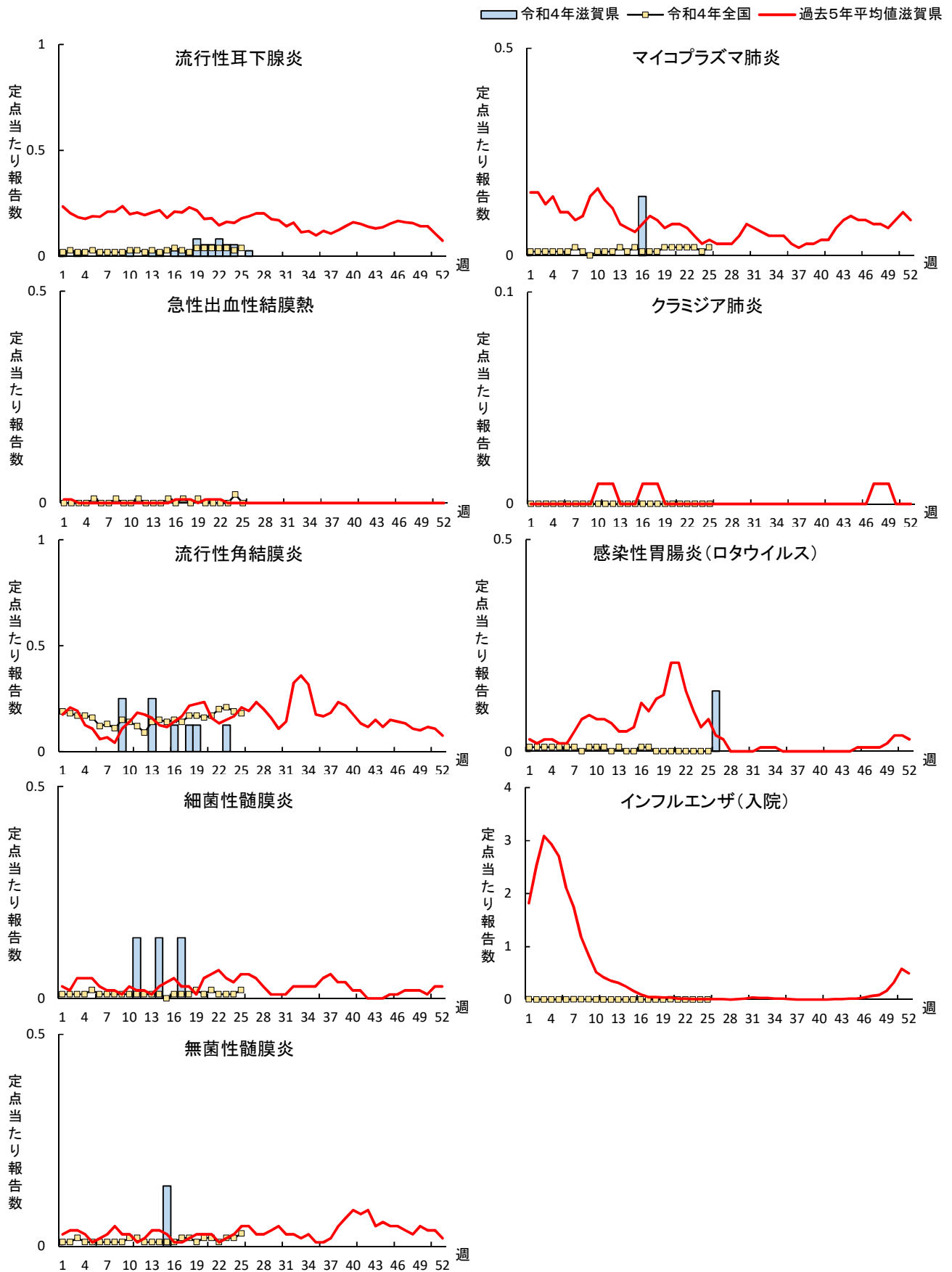
基幹定点 (7医療機関)	総数	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

「-」: 報告なし

5-1. 定点把握疾患（五類感染症）の発生動向（全国は前週まで掲載）



5-2. 定点把握疾患（五類感染症）の発生動向（全国は前週まで掲載）



6. 全数把握疾患 詳細情報（今週報告例）^v

類型	疾患	診断週	保健所	年齢	性別	病型等	推定感染地	病原体等
二類	結核	26	大津市	90歳以上	男	肺結核及び粟粒結核	-	-
	結核	26	甲賀	70歳代	男	無症状病原体保有者	-	-
	結核	26	彦根	30歳代	女	無症状病原体保有者	-	-
	結核	26	彦根	80歳代	女	結核性胸膜炎	-	-
三類	腸管出血性大腸菌感染症	26	草津	30歳代	女	-	県内	O157 VT型不明
四類	レジオネラ症	26	東近江	40歳代	男	肺炎型	県内	-
	レジオネラ症	26	彦根	60歳代	男	肺炎型	-	-
五類	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	26	草津	80歳代	女	-	県内	<i>Enterobacter.sp</i>
	クロイツフェルト・ヤコブ病	20	草津	90歳以上	女	孤発性プリオン病	県外	-
	梅毒	25	草津	20歳代	男	早期顕症Ⅰ期	-	-

v. 感染症発生動向調査事業において、一～四類および五類感染症の全数報告対象の感染症が、診断した医師から最寄りの保健所へ届出されています。

今週の注目すべき感染症

■ 梅毒

(1) 梅毒に関する Q&A (厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html

(2) 梅毒とは (国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ha/syphilis/392-encyclopedia/465-syphilis-info.html>

(3) 梅毒 IASR Vol.41 2020 年 1 月号 (国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/syphilis-m-3/syphilis-iasrtpc/9342-479t.html>

■ 新型コロナウイルス感染症

(1) 新型コロナウイルス感染症に関する滋賀県の状況について (滋賀県)

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kenkouiryouhukushi/yakuzi/309252.html>

(2) 現在の感染拡大防止対策について (滋賀県)

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/bousai/sougo/313693.html>

(3) 新型コロナウイルス感染症にかかる滋賀県内の感染動向等 (日報・週報) (滋賀県感染症対策課)

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kenkouiryouhukushi/yakuzi/314006.html>

■ サル痘

(1) サル痘について (厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/monkeypox_00001.html

(2) サル痘とは (国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/408-monkeypox-intro.html>

(3) サル痘に関する情報提供及び協力依頼について

<https://www.mhlw.go.jp/content/000945942.pdf>

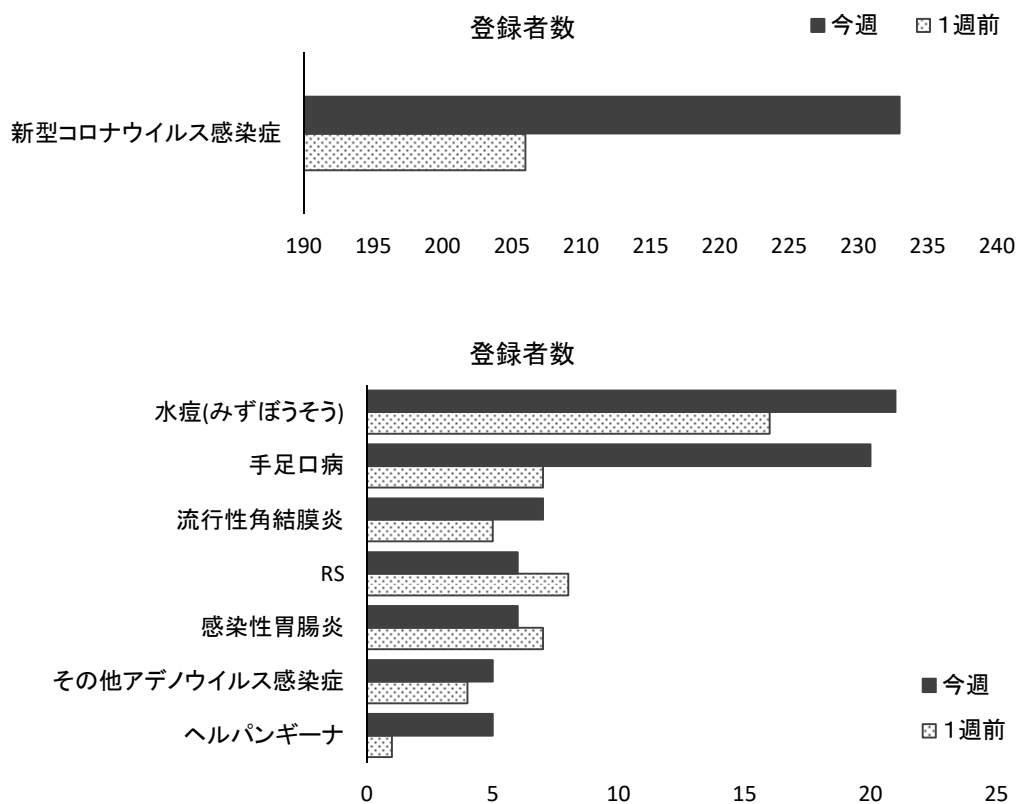
7. 全数把握疾患の累積患者報告数 保健所別（令和4年）^{vi, vii}

疾患	滋賀県			保健所別累積報告数							全国		昨年累積報告数	
	例年より多い	例年より非常に多い	累積報告数	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	(前週)	滋賀県	全国	
二類 結核			83	34	19	6	8	11	5	0	6999	169	15799	
			5.88	9.92	5.47	4.22	3.54	7.12	3.33	0.00	5.58	11.95	12.52	
三類 腸管出血性大腸菌感染症	○		16	5	3	3	3	0	1	1	840	77	3220	
			1.13	1.46	0.86	2.11	1.33	0.00	0.67	2.18	0.67	5.45	2.55	
四類 レジオネラ症	○	○	15	4	0	1	2	6	2	0	774	37	2112	
			1.06	1.17	0.00	0.70	0.88	3.88	1.33	0.00	0.62	2.62	1.67	
五類 アメーバ赤痢	○		3	1	1	0	0	0	1	0	240	5	529	
			0.21	0.29	0.29	0.00	0.00	0.00	0.67	0.00	0.19	0.35	0.42	
カルバペネム耐性腸内細菌感染症	○		9	1	7	0	1	0	0	0	762	25	2038	
			0.64	0.29	2.01	0.00	0.44	0.00	0.00	0.00	0.61	1.77	1.62	
クロイツフェルト・ヤコブ病			1	0	1	0	0	0	0	0	87	1	178	
			0.07	0.00	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07	0.07	0.14	
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	○		8	2	5	0	1	0	0	0	357	12	646	
			0.57	0.58	1.44	0.00	0.44	0.00	0.00	0.00	0.28	0.85	0.51	
後天性免疫不全症候群			3	0	3	0	0	0	0	0	432	8	1047	
			0.21	0.00	0.86	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.34	0.57	0.83	
侵襲性肺炎球菌感染症			11	3	3	1	1	0	3	0	620	16	1388	
			0.78	0.88	0.86	0.70	0.44	0.00	2.00	0.00	0.49	1.13	1.10	
水痘(入院例)			2	0	0	0	0	1	1	0	157	11	298	
			0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.65	0.67	0.00	0.13	0.78	0.24	
梅毒	○		26	6	9	1	7	0	3	0	5283	46	7873	
			1.84	1.75	2.59	0.70	3.09	0.00	2.00	0.00	4.21	3.25	6.24	
播種性クリプトコックス症	○		1	0	0	0	1	0	0	0	70	0	159	
			0.07	0.00	0.00	0.00	0.44	0.00	0.00	0.00	0.06	0.00	0.13	
百日咳			6	3	0	0	3	0	0	0	263	8	746	
			0.43	0.88	0.00	0.00	1.33	0.00	0.00	0.00	0.21	0.57	0.59	

- vi. 今年第1週以降に診断された感染症の累積報告数を全国、滋賀県および保健所別に示しています。上段に「今年累積報告数」、下段に「人口10万人当たりの累積報告数」を示しています。
- vii. 今年と過去5年の同時期の累積報告数の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、または「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記

【参考】今週の学校欠席者情報収集システム（保育園サーベイランス含む）概況（滋賀県）

滋賀県では、園および学校等により、感染症による欠席者等の情報を学校等欠席者・感染症情報収集システム(https://scl11.953862.net/schoolkoukai/view_all.php)へ毎日入力いただいています。入力いただいたデータを、本感染症週報と同期間について、集計して掲載しています。



図：学校欠席者情報収集システム（保育園サーベイランス含む）において登録数の多い疾患

【全国情報】 国立感染症研究所 感染症疫学センターHP に掲載されています。

- 感染症発生動向調査 週報 (IDWR) <https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr.html>
- 病原微生物検出情報 (IASR) <https://www.niid.go.jp/niid/ja/iasr.html>
- インフルエンザ様疾患発生報告(学校欠席者数) <https://www.niid.go.jp/niid/ja/flu-flulike.html>

【届出対象疾患】厚生労働省 HP に掲載されています。

感染症法に基づく医師の届出のお願い
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/kekkaku-kansenshou11/01.html

滋賀県感染症発生動向調査週報は、感染症法に基づいて県内の医師、定点医療機関および県内各保健所より報告されたデータを用いて、滋賀県衛生科学センター健康科学情報係において作成しています。

本情報は滋賀県感染症情報センターホームページに掲載しております。

滋賀県感染症情報センターHP:

<https://www.pref.shiga.lg.jp/eiseikagaku/kansensyou/>



イラストは滋賀県健康づくりキャラクター「しがのハグ&クミ」